

(様式3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	株式会社Mr. Orange
取組	(1) 女性農業者グループの活動支援
構成員数	7人(うち、女性の人数:5人) (令和3年5月時点)

1 事業実施方針

<事業概要>

本事業は、熊本県における女性農業者のネットワーク作り及びグループの立ち上げと、女性農業者の社会的活躍が期待できるグループ活動の企画づくりと活動計画の策定までを実施するものです。

<背景>

令和3年3月1日に九州農政局において「第一回九州女性農業者意見交換会」が開催され、弊社取締役の永井香織が出席した事で、沖縄を除いた九州各県における女性農業者の地域グループ活動状況について知る事ができました。その状況は以下の通りでした。

福岡県・・・Happy Farming(いいっちゃんい福岡)として活動中
佐賀県・・・さが農業女子「カチカチ農楽が〜」として活動中
長崎県・・・活動準備中
大分県・・・活動準備中
宮崎県・・・Hinaga・あぐりんぬとして活動中
鹿児島県・・・かごしま農業女子プロジェクトとして活動中
熊本県・・・活動未定

このように九州各県で次々と女性農業者のグループが立ち上がり、既に活動もしくは活動準備中でありましたが、熊本県だけが活動未定である事がわかりました。

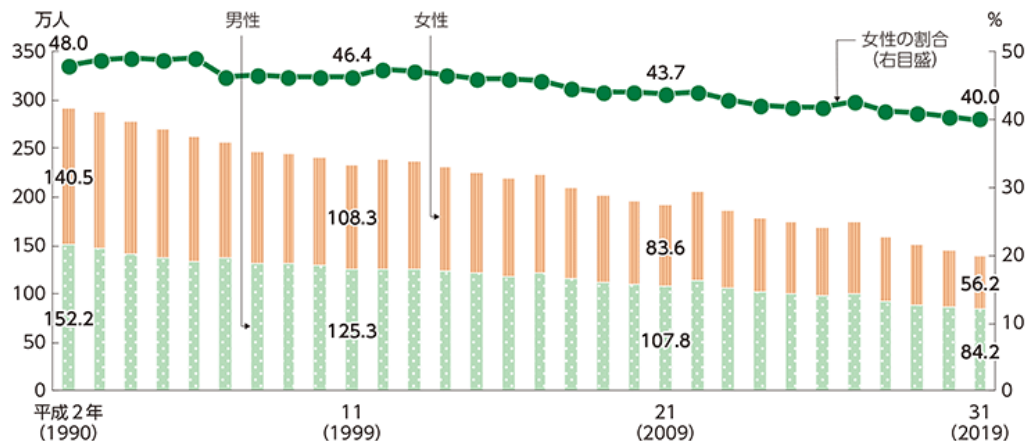
熊本県では地元のメディアでも農業者として登場するのは男性である事がほとんどで、女性は「妻として支える立場」としての登場が多く、女性が農業という世界で活躍しているイメージはまだまだという状況です。

「肥後もっこす(熊本ならではの頑固者)」「九州男児」など、元来男性社会色が強い地域である事も多少影響しているかもしれません。

しかし現在でも農業就業人口の約40%は女性が占めており、農業振興発展のためにはもっと女性が活躍する機会や場所が必要であります。

(参考)「令和元年度食料・農業・農村白書」より

図表 特2-6 基幹的農業従事者数の男女割合



資料：農林水産省「農業構造動態調査」、「農林業センサス」を基に作成

注：1) 基幹的農業従事者とは、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。
2) 各年2月1日時点

そしてその対応は、この1999年から2019年までの20年で、全国の女性基幹的農業従事者が46%から40%へと大きく減少している状況からも急務であると感じております。

そこで今回、弊社取締役 永井香織が中心となって熊本県内における女性農業者の活動グループの立ち上げ役を担う事といたします。

<実現したい事>

本事業では、女性農業者が活躍できる場（機会）をつくるためにグループの立ち上げを行いますが、これにより以下のような事を実現できるようにしていきたいと思っております。

- (1) 県内女性農業者同士のネットワーク作りと交流を促進
- (2) 仕事や人生における新しい学びや刺激を得られる機会の提供
- (3) それぞれの仕事や家庭の事情に応じて、無理なく参加できる活動と仕組み
- (4) 支え合い、協力して発展する文化の醸成
- (5) 楽しく自己実現し、輝く女性農業者が増加する事による職業としての魅力UP

<グループの活動内容について>

先述した九州各県で活動している女性農業者グループが実施している活動は、主に「学生との交流（農業体験）」、「学生とのコラボレーション（商品開発）」、「グループとしてのマルシェ出店」、「勉強会（POP作成等）」といった様子でした。

そういった活動も大切ではありますが、熊本県で立ち上げる女性農業者グループでは、

「農業」×「女性」×「得意」×「貢献」

という4つのキーワードの掛け算で、メンバーそれぞれが自己実現し、更に「自分達の活動が社会の役に立っている」という事を実感できるような活動をにしていきたいと考えています。

そして、その活動を持続できるようにするためと、活動に対する家族からの理解が得られるようにするために、以下の3つの要素を満たす取組みを検討して参ります。

- (1) メンバーの家業や所属企業の経営改善につながる事
- (2) 農業全体にも貢献できる事（他地域でも同じ取組みを展開できる）
- (3) 社会課題解決の要素がある事（SDGs 要素）

<スケジュール>

グループ立ち上げまでのスケジュールは以下のように予定しています。

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1	コアメンバー募集	●	→					
2	メンバー募集		●	→				
3	キックオフ			●	→			
4	グループ名検討				●	→	→	→
5	役員決め				●	→	→	→
6	活動内容の企画	●	→					
7	活動内容検討			●	→	→		
8	活動計画作成						●	→



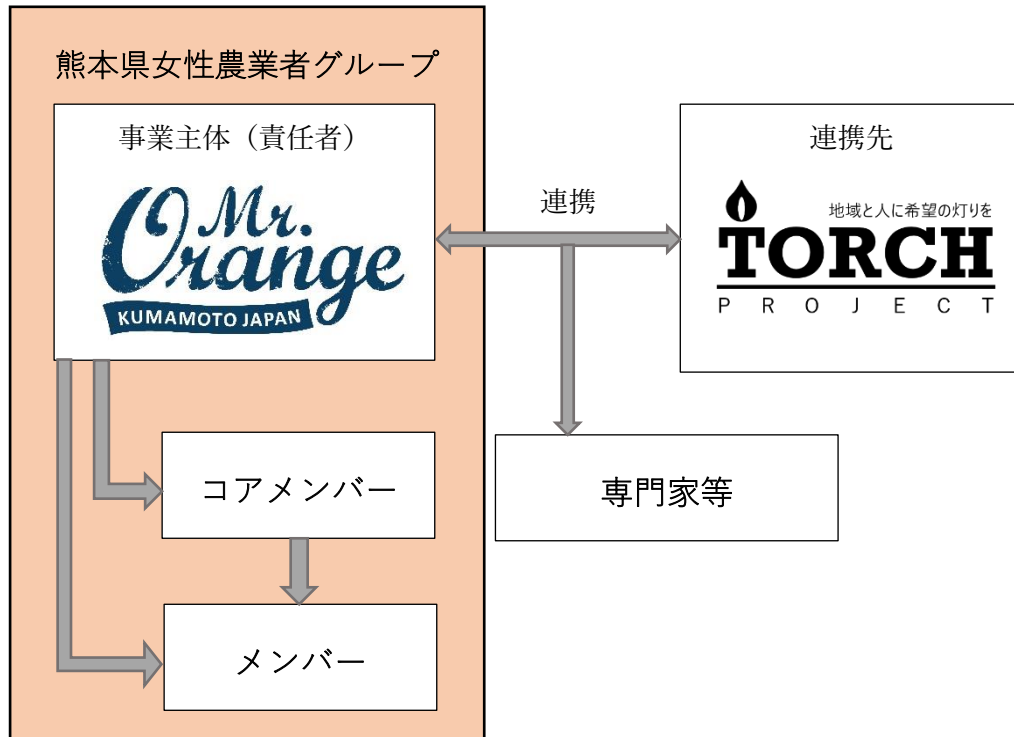
新年度より
本格活動始
動予定

- (1) コアメンバーについては個別に直接対面しての説明を予定しています。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性農業者活躍に向けた実施体制

本事業は女性農業者のグループ活動をスタートさせるための取組みでもあり、その遂行については外部の協力を得ながら以下のような体制で実施予定です。



(補足)

1. 事業主体である株式会社Mr. Orangeは、農業（果樹）と食品加工（6次化）を営む会社で、2021年5月時点所属7名の構成は以下の通りです。

安田昌一（男性）	}	計7名
安田千賀子（女性）		
永井香織（女性）		
木下雅子（女性）		
高倉薫（女性）		
坂本準也（男性）		
植田真由美（女性）		

2. TORCHは、Mr. Orangeの所在地でもある水俣市において、人や社会のために必要だと思う事を、行政や周りの誰かが取り組むのを待つのではなく、同じ思いや志を持つ民間の力を集結させ実現していく事を目的として2019年に作られた団体で、取組み内容に応じて最適なメンバーを集めてプロジェクトを遂行しており、これまでも熊本県やグリーンコープ等の支援を受けながら地域振興活動を行っております。

今回の事業では、女性農業者グループの取組み内容の企画・骨子の作成、メンバー募集のための説明会やWSの開催運営など立ち上げに必要な実務面のサポートを実施します。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>※本事業の申請内容は県内女性農業者グループの立ち上げであるため、この項は直接事業に関係しませんが、弊社が単体として取り組んでいる内容について記載致します。</p> <p><これまでの取組み></p> <p>(1) 公益社団法人日本農業法人協会へ農業インターンシップ受入先として登録。</p> <p>(2) 東京農業大学へインターンシップ受入先として登録。</p> <p>(3) 龍谷大学、立命館大学の学生へ向けた出前授業の実施やフィールドワーク及び農業体験受入</p> <p>(4) 鹿児島県鶴翔高校への出前授業</p> <p><これからの取組み></p> <p>基本的にはこれまでの取組みを継続して行う予定です。</p>	<p>(1)2020年度は男性1名、女性1名の計2名受入</p> <p>(2) 昨年度はコロナ禍のため大学側が中止した</p> <p>(3) 2019年までは龍谷大学へ出前授業に出向いていたが、昨年からのコロナの影響で中止となっている。2020年は立命館大学へZoomを利用した出前授業を実施。</p> <p>(4) 2020年度出前授業を実施。</p>	

(注) 「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p><これまでの取組み></p> <p>弊社の所在地域である水俣市は、県内でも新規就農者数はワースト地域であり、女性の新規就農者がおらず現在のところ取組みの該当がありません。</p> <p>ワースト要因として、おそらく水俣病のイメージが強すぎて「農業」のイメージが世間になく、地形的に平地が少なく、最近人気の施設野菜に取り組むには適していない事などが考えられます。</p> <p><これからの取組み></p> <p>上記の理由からも、特に「水俣市の女性農業者」が旗振り役となって熊本県の女性農業者グループを立ち上げる事は、大きな意味があると考えております。</p> <p>本事業をきっかけに、「元気な水俣」「水俣の女性農業者は輝いている」というイメージを世間に広めていく事が最初の1歩と考えています。</p>	<p>本事業への取組みにより、「元気な水俣」「水俣の女性農業者は輝いている」というイメージを定着させる。</p>	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p><これまでの取組み></p> <p>※ここでは、弊社取締役 永井香織が女性農業者として取り組んできた内容について記載します。</p> <p>2014年6月 農業女子プロジェクトへ加入</p>	<p>女性農業者の交流の機会や他企業とのコラボ商品、ラジオ等への出演など様々な機会を与えてもらう事ができた。</p>	

<p>2015年2月 くまもと農菓子プロジェクトへ参加。 ……県内の男女若手農業者と共に、それぞれの農産物を使用した菓子を開発し、1つのパッケージに仕上げ、共同で販売するという期間限定PJ。</p>	<p>副知事の表敬訪問、ラジオ出演やテレビ取材などで地元の若手農業者が男女共同で新しいチャレンジしている姿をPRする事ができた。</p>	
<p>2016年6月 水俣商工会議所主催 みなまたキッチンへ参加。</p>	<p>地元異業種の方達とのネットワークができた。定期的なマルシェの開催なども始まった。</p>	
<p>2017年2月 九州農政局 農山漁村男女共同参画推進セミナーにて、事例発表者として登壇</p>	<p>これまでの取組みについて説明した。その後、宮崎県の若手農業者（男性）と鹿児島県のさつまファームレディースの視察を受け入れた</p>	
<p>2017年9月 水俣市主催 四方良し経営の学び舎参加（水俣市主催の若手後継者向け経営塾）</p>	<p>地元の若手後継者とのネットワークができた。 最終回開かれたローカルビジネスサミット水俣2018 ビジネスアイデア発表会において「エディブルフラワーでもっと輝く水俣へ」を発表し最優秀賞を受賞。</p>	
<p>2018年5月 開発した加工食品において特許を取得し、発明者として登録される。 （特許第6334029号）</p>	<p>世界的にも今までになかった商品を開発し、特許を取得。発明者として登録された。</p>	
<p>2019年2月 にっぽんの宝物 熊本大会へ出場（加工食品・工芸品等のコンテスト）</p>	<p>グランプリを受賞</p>	

<p>2019年6月 龍谷大学へ出前授業</p>	<p>「水俣芦北地域における食と農の実践」というタイトルでの授業を実施。その後もフィールドワーク受入など継続。</p>	
<p>2019年7月 につぼんの宝物 JAPAN グランプリへ出場</p>	<p>新体感部門グランプリ及び、グランドグランプリを受賞</p>	
<p>2019年7月 熊本県知事表敬訪問</p>	<p>新聞やニュースで放送</p>	
<p>2019年9月 につぼんの宝物 シンガポール大会へ出場</p>	<p>準グランプリ受賞</p>	
<p>2019年10月 小泉環境大臣と地元経済界の懇談会へ出席</p>	<p>唯一の女性出席者として招待される</p>	
<p>2020年1月 熊本県女性活躍サミット2020 肥後六花アワードへファイナリストとして登壇</p>	<p>オーディエンス賞受賞</p>	
<p>2020年2月 水俣市長表敬訪問</p>	<p>市長と対談</p>	
<p>2020年4月 水俣市報「水俣ひと辞典」に掲載</p>	<p>地元で最も読まれる情報誌に掲載</p>	
<p>2020年6月 立命館大学 食マネジメント学部へオンライン出前授業の実施</p>	<p>「食ビジネスの現在」というテーマで農業者の視点から授業を行った</p>	
<p>2020年8月 女性農業者コミュニティリーダー育成塾の受講（2021年3月まで）</p>	<p>自分らしいリーダーシップについて学んだ。九州以外の女性農業者とのつながりができた。</p>	

<p>2020年10月 鹿児島県 鶴翔高校へ出前授業</p>	<p>実践している農業や6次産業の取組みについて授業を実施</p>	
<p>2020年11月 九州農政局×熊本県女性農業者の意見交換会において取組事例発表</p>	<p>意見交換だけでなく、県内の女性農業者と交流できた</p>	
<p>2021年3月 第1回九州女性農業者意見交換会へ出席</p>	<p>九州各県の女性農業者の活動等について知る事ができた。</p>	
<p><これからの取組み></p> <p>基本的にはこれまでの取組みは継続して行っていますが、これから先は女性農業者個人としてよりも、グループとしての活動に比重を置き、私以外の女性農業者の方達にも大いに活躍していただけるようにしていきたいと考えています。</p>		

(注) 農業委員等に出選された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 地域の女性ネットワークづくり、女性グループ活動

【計画内容】

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1	コアメンバー募集	●	→					
2	メンバー募集		●	→				
3	キックオフ			●	→			
4	グループ名検討				●	→	→	→
5	役員決め				●	→	→	→
6	活動内容の企画	●	→					
7	活動内容検討			●	→	→		
8	活動計画作成						●	→



新年度より
本格活動始
動予定

時期	内容（対象者・方法等）	備 考
2021年8月～9月頃	<p>1. コアメンバー募集</p> <p>株式会社Mr. Orangeより呼びかけを行う。第一弾として具体的に以下の女性農業者へコアメンバーとしての参加呼びかけを予定しています。</p> <p>(1) 氷川町／坂本素子さん ※打診済</p> <p>(2) 阿蘇市／佐藤智春さん ※打診済</p> <p>(3) 阿蘇市／大津愛梨さん</p> <p>(4) 菊池市／守川亜由美さん</p> <p>(5) 玉名市／一瀬きぬ子さん</p> <p>(6) 八代市／本田あゆこさん</p> <p>(7) 水俣市／平松あきこさん</p> <p>(8) 玉名市／蘇鉄薫さん</p> <p>(9) 菊池市／森本和さん</p>	
2021年8月下旬～10月末頃	<p>2. メンバー募集</p> <p>株式会社Mr. Orangeと、コアメンバーとして呼びかけした人達に協力してもらいながら、呼びかけを実施していきます。</p>	
2021年8月下旬～9月末頃	<p>6. 活動内容の企画</p> <p>方 法：対面またはオンラインにて</p> <p>企画草案：TORCH + Mr.Orange</p> <p>場合によっては専門家等のアドバイスも交えながら進めていく。</p>	
2021年10月下旬～11月末頃	<p>3. キックオフ</p> <p>左記期間の中で、集まった人達とのキックオフミーティングを開催。</p> <p>方 法：できるだけ対面で計画</p> <p>参加者調整：Mr.Orange + コアメンバー</p> <p>開催運営：TORCH + Mr.Orange</p>	

2021年10月下旬～ 12月末頃	4. グループ名の検討 5. 役員決め 7. 活動内容の検討 方 法：対面もしくはオンラインにて 参加者調整：Mr.Orange + コアメンバー 開催運営：TORCH + Mr.Orange 必要に応じて専門家等を交えながら進めていく。	
2022年1月～2月	8. 活動スケジュールの策定 方 法：対面もしくはオンラインにて 参加者調整：Mr.Orange + コアメンバー 開催運営：TORCH + Mr.Orange 2022年2月～2023年3月頃までを予定。	
2022年2月以降	9. 活動の開始準備等（プレ活動開始） 主 体：熊本女性農業者グループ（仮称） サポート：TORCH 策定した活動スケジュールに基づき、できる事から スタートさせていく。 必要に応じて専門家のアドバイスなどを受ける。 ※2022年春以降 Mr.Orange ではなく、立ち上げた グループが主体となって活動していきます。 また、将来的に同じ取組みを他の地域でも展開でき るようにして行きたいと考えています。	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	2 人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者	人、雇用就農者 1 人、アルバイト・ボランティア等 1 人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の女性とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。